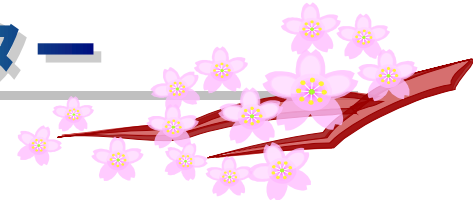


2011年4月号

ビジネスニュースレター



■ はじめに

先般の東日本大震災にて被災された方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。日がたつにつれて、直接的な被害ばかりではなく、間接的な影響も次第に明らかになってきており、いまだ全ての影響度合いを測り知ることができない、という状況ではないでしょうか。

また、東日本全域で電力供給力不足による企業活動への制約など、事業環境としても戦後最悪の状態であることは間違いのないと思います。

■ 今こそ、中長期目線で「戦略」の見直しを！

ただ、今回の「事業環境の大変化」はすぐに元通りになるようなものではなく、むしろ、これまでのあり方を根本から見直して、「新しい秩序を構築」するキッカケになると思います。当面は目の前の変化に対応していくだけに迫られるかもしれません。しかしながら、新しい「事業環境下での将来」を想定し、大きく戦略を見直し、すばやく実行する、すなわち、中長期戦略の見直しをできるだけ早急におこなうことをあらためてお奨めいたします。

「経営とは事業環境の変化に適応していくこと」と、よく言われますが、厳しいことに、こういった大災害の後においても、同じことを申し上げざるを得ません。もちろん、みらいコンサルティングは、戦略見直しの検討、金融機関等への説明サポートなど、持ちうるリソースをフル活用してこれまで以上にご支援申し上げる所存です。どうぞお気軽にご相談ください。

■ 世界は待ってくれない！

さらに、グローバルビジネスの観点から見れば、むしろ、この機に日本に追いつき追い越せ、と考えている外国企業もある、という現実も認識しておかなければならないと思います。グローバルビジネスは今日も大きく動いていて、決して待ってはくれないものなのです。

5年、10年先を見通すと、日本市場が今よりも縮小していることは明白です。一方でアジアには経済成長著しい国が多く存在しています。昨年あたりから盛んに報道などされていることですが、どの日本企業も「縮小するマーケットと可能性のあるマーケット」への対応を迫られていることは間違いありません。

こういった日本全体が苦しい時期ではありますが、まずは、身近なアジアからでも、その実態に目を向け、各々企業としてどう対応していくか、「検討」するアクションを開始すべきではないでしょうか。

みらいコンサルティングでも、現地視察、調査、戦略立案など、あらゆる場面でサポートしてまいります。「現地視察したいけど、どこをみたらいい？」といったご相談でもお気軽にお声掛けください。

< 日本企業の復活をかけたM&A戦略 >

1. 直近のM&Aのトレンド

- リーマンショックから2年が経過。アジア新興国の高成長に牽引される形で世界経済は回復途上
- 円高・低金利の恩恵を受け、日本企業によるアジア企業を対象としたM&Aは増加傾向
- 2010年件数：274件(前年比83%増)。金額ベース：約8,900億円(前年比3%増)(*1)
- 東日本大震災の以降、買手の心理的な委縮及び売手の業績先行き不透明感が台頭し、M&A交渉全般が滞り気味に、特に中堅中小企業のM&Aは暫く逆風状態が続くと予想

- 一方、「個人消費の拡大するアジア市場で活路を見出すため」の M&A は引き続き有効な経営戦略
- 日本再生のためには国内外問わず M&A を活用した成長路線へ一歩踏み出す絶好の機会
- M&A の昨今の注目活用事例：「食品業界」
 - 1) 中堅・中小のオーナー企業による、売上高・販路・取扱品目の拡大を企図した後継者不在・業績不振企業の買収
 - 2) 価格決定権を狙った海外企業の買収・資本提携を積極化する大手企業
 - 3) 国内の中堅・中小メーカーの、水面下での合従連衡の動き

直近 3 カ月の食品関連の M&A 成約事例 (*2)

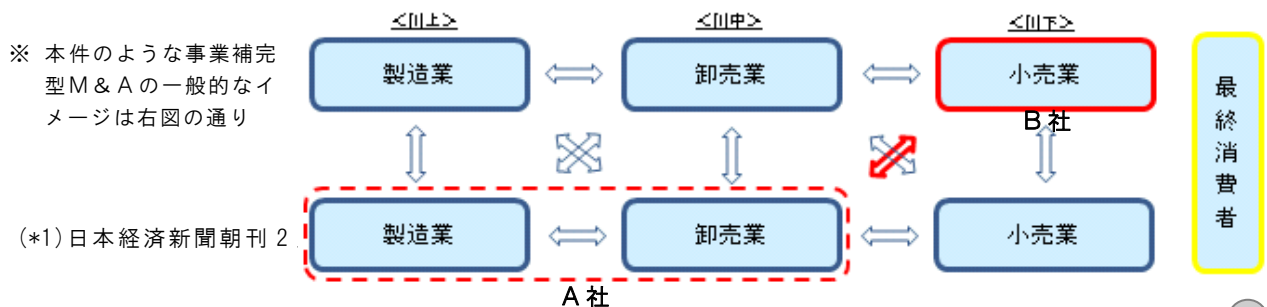
※注：(IN-IN) 日本企業同士の Deal / (IN-OUT) 日本企業が海外企業を買収する Deal / (OUT-OUT) 海外企業同士の Deal。

No.		プレス日	形態	買収側	事業内容	対象会社	事業内容
1	IN-IN	3月2日	買収	ヨシムラ・フード	食品製造	エイチエーシー	健康食品通販
2	OUT-OUT	2月15日	買収	アンハイザー・ブッシュ・インベブ	ビール製造	大連大雪ビール	ビール製造
3	IN-IN	2月11日	買収	サッポロホールディングス	食品・飲料製造	ポッカコーポレーション	飲料製造
4	IN-OUT	2月9日	事業譲渡	プリンセス(三菱商事英子会社)	食品・飲料製造	プレミアム・フーズ	缶詰製造
5	IN-IN	1月31日	買収	旭食品	加工食品製造・卸	大倉	食品卸
6	IN-IN	1月29日	買収	アシードホールディングス	自販機運営	宝積飲料	飲料製造
7	IN-IN	1月27日	買収	スピードパートナーズ	企業再生支援	モリヤ	食品スーパー
8	IN-IN	1月26日	買収	トーホー	食品卸	AI	輸入食材卸
9	IN-IN	1月25日	買収	アイ・シグマ	丸紅運営ファンド	ゴールドリック	飲料製造
10	IN-IN	1月18日	買収	カッパ・クリエイト	外食	ジャパンフレッシュ	調理パン製造
11	IN-OUT	1月12日	買収	三井物産	商社	マルチグレインAG	農業生産・穀物物流
12	IN-IN	12月28日	買収	ミキカンパニー	化粧品・石鹸販売	霧島横川酒造	酒類製造販売
13	IN-IN	12月27日	買収	ヒガシマル	養魚用飼料製造	日清マリテック	水産飼料、水産種苗生産
14	IN-IN	12月23日	買収	日本ゼネラルフード	給食サービス	ダイヤ食品サービスなど3社	社員食堂運営
15	IN-IN	12月22日	買収	ヨシムラ・フード	食品製造	桜顔酒造	酒類製造販売
16	IN-IN	12月21日	買収	日本製粉	食品製造	オーケー食品工業	油揚げ製造

2. 成約事例から見る M&A

事業戦略上の危機感から成約に至った食品会社 M&A 事例：「食品メーカー A 社」のケース

- 海外市場向け新商品開発を、エンドユーザーニーズの情報不足から（小売部門なし）断念した経緯から、マーケティング機能に強みを持つ食品販売会社の買収を計画
- 一方大手企業グループの「食品販売会社 B 社」は、収益は上がっていたもののノンコア事業であったため、これ以上の企業価値向上が認められないとの経営陣の判断で売却を希望
- 買手と売手の M&A 戦略ニーズが一致していたため、マッチングから成約まで 3 カ月という短期間の交渉で成約



3 月 11 日に発生した「国内観測史上最大のマグニチュード 9」という巨大地震に見舞われ、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
私どもは、状況を正しく見極めて、冷静に対応し、これ以上の被害を拡大させない決意をし、被災にあわれた皆様の復興に向けた取り組みに全力で支援をしていきます。
御要望がございましたら、私どもにご相談ください。
皆様の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

【ニュースレター編集委員会】岩楯・岡田・菊地・坂下・タン
この内容についてのご意見・お問い合わせはこちらへ
Address : newsletter@miraic.jp